

以下のデータは、英辞郎 Ver. 169 で追加された全データのごく一部です。
これらのサンプルデータにおいては、漢字の読み仮名が削除されています。

コンピューター／インターネット

- authenticator app : 認証アプリ◆ワンタイム・パスワードを生成するソフトウェアなど
- butter smooth : 《be ~》〈話〉非常に滑らかである、ぬるぬる動く◆ぎこちない点が全くない。特にゲームなどの画面が、高フレームレートで滑らかにレンダリングされる様子（デバイスの性能や、ソフト側の最適化の優秀さを褒める表現）。◆【参考】as smooth as butter
- cryptocurrency market : 暗号通貨市場◆通例、the ~
- cryptojacking {名・形} : クリプトジャッキング (の) ◆他人のコンピューターなどのリソースを無断で使い、暗号通貨のマイニングを行って、利益を得ようとする事（ウェブページに埋め込まれたスクリプトや、マルウェアなどによって）。CPU の処理時間を横取りされるため、被害者のコンピューターは動作が遅くなる。
- cryptoverse {名} : 暗号 [仮想] 通貨界 [の世界] ◆【語源】crypto + -verse◆【参考】-verse
- disable the caps lock key : CapsLock キーを無効にする
- dogpiler {名} : 〈俗〉[インターネットなどにおいて] 集団で嫌がらせ (の書き込み) をする人、多人数でのいじめに加わる人◆【参考】dogpile
- enable two-factor authentication : 2 要素認証を有効にする
- exbibyte {名} : 《単位》エクスピバイト◆1024 の 6 乗 (=2 の 60 乗) バイトの記憶容量・データ量。1024 ペビバイト (PiB) に当たる。◆【略】EiB◆【参考】pebibyte ; exabyte
- handle leak : ハンドル・リーク◆何らかのリソースを使うためハンドルを開いた (取得した) ものの、処理終了後にハンドルを閉じ忘れている場合など。メモリーリークの一種。◆【参考】handle
- hashrate {名} : ハッシュレート◆「単位時間当たり何個のハッシュを計算できるか」という処理速度を表す。例えば、毎秒 1 キロハッシュなら、1 秒につき 1000 個の割合。◆主に、暗号通貨のマイニング能力を表すときに使われる。合計処理能力の大小・増減は、その通貨の普及の程度・人気 (決済件数・決済需要) の目安ともなる。
- keylog {他動} : 〈話〉[コンピューターなどに] キーロガーを仕掛ける、[キー入力・パスワードなどを] キーロガーによって盗む [記録する]、(人) のデバイスにキーロガーを仕掛ける◆【参考】keylogger
- monster-in-the-middle {形} : 中間者の◆サイバー攻撃 (盗聴、通信内容の改ざんなど) ◆man-in-the-middle と意味は同じ。攻撃者は man (男性) とは限らないので、monster と言い換えたのだろう。◆【略】MITM ; MitM
- opaque pointer : 不透明なポインター◆ポインターが指し示すオブジェクトの実装が非公開。◆この「不透明」は意図的な「実装の隠蔽」を指す。否定的ニュアンスではない。
- prone to bugs : 《be ~》バグが入り込みやすい、バグ [不具合] の原因になりやすい◆ソフトウェアの開発手法などに関連して

■real-time phishing : リアルタイム・フィッシング◆真正なウェブサイトを使おうとしている被害者に対し、中間者攻撃を仕掛け、ログイン情報・カード番号などを入力させて盗むこと。リアルタイムでの干渉なので、有効期間が短いワンタイムパスワードが併用されていても、被害を防げない可能性がある。

■SMS authentication : SMS 認証◆ユーザーに SMS でワンタイム・パスワードを送り、それを入力させるもの。2 要素認証として使われる。事業者視点では「ユーザーはその電話番号の持ち主」という一応の本人確認もできる。ユーザー視点では「あまり電話番号を教えたくない」という懸念もあり得る。

■social engineering attack : ソーシャル・エンジニアリング攻撃◆人間の心理・社会性・常識などの隙を突く。例えば、攻撃者が「サポートセンターの親切な担当者」になりすまし、被害者から、電話でログイン情報を聞き出すこと。成功すれば、数学的手法でパスワードを解析するより手っ取り早い。◆【参考】social engineering

■subtweet {名} : サブツイート◆ツイッター上で、実名・アカウント名・ニックネームなどを示さずに、特定の人に関すること（特に批判）を投稿すること。◆【語源】subliminal + tweet

■tattleware {名} : タトルウェア◆リモート（または在宅）ワーカーのパソコンにインストールされ、勤務時間中のインターネットの使用状況を上司（またはマネージャー）に報告する（または、告げ口をする=tattle）業務管理ソフトウェア。◆【同】bossware

■tweetstorm {名} : ツイートストーム◆ツイッター上で、特定の話題について複数のツイートが次々と投稿されること。

■zebibyte {名} : 《単位》ゼビバイト◆1024 の 7 乗 (=2 の 70 乗) バイトの記憶容量・データ量。1024 エクスビバイト (EiB) に当たる。◆【略】ZiB◆【参考】exbibyte ; zettabyte

医学

■antihistaminic treatment : 抗ヒスタミン療法

■catch strep throat : 連鎖球菌性咽頭炎になる [かかる・感染する]

■fibers of the periodontal ligament : 《解剖》歯根膜線維

■hepatological {形} : 肝臓病学の [に関する・的な・上の]

■parotid salivary gland : 《解剖》耳下腺

その他

■back-alley dealing : 〈俗〉[密売人とこっそりやりとりするような] 闇取引

■become allies {1} : 同盟国になる

■become allies {2} : [複数の人たちが目的を達成するために] 手を組む

■blue food {1} : 青色の食べ物◆ブルーベリー、青色の菓子・ケーキなど

■blue food {2} : ブルーフード◆（海水または淡水の）水生環境での漁業および養殖から得られる食用水生生物（魚・甲殻類・藻類など）

■cold-hearted capitalist {1} : 冷酷な資本主義者

- cold-hearted capitalist {2} : 〈比喩〉冷酷な〔計算高い〕策略家、欲得ずくで動く人
- customer service smile : 〔顧客対応などにおける〕営業スマイル
- dad pun : 〈俗〉しょうもない掛け言葉〔駄じゃれ〕、おやしギャグ◆（父親が得意げにわが子に言うような）駄じゃれ。面白くない語呂合わせ。◆【類】dad joke
- driving while license invalid : 免許失効中の運転◆自動車などについて。免停中の運転など。◆【略】DWLI
- eat through {1} : 〔細菌などが〕～を侵食する
- eat through {2} : 〔化学薬品などが〕～を溶かす
- emergency position-indicating radio beacon : 非常用位置指示無線標識（装置）◆船の沈没・飛行機の墜落などの非常時に、遭難信号を発して（人工衛星経由で）現在位置を知らせ、救助を求めるための装置。◆【略】EPIRB
- fluke accident : 〔めったにないような〕偶然の事故、偶発的な災難、不幸な偶然
- gong show : 〈俗〉カオス、めちゃくちゃ、手に負えない状況、どったんばったんの大騒ぎ、てんやわんや◆無秩序・失敗・大混乱
- have a shouting match : 〔感情的になった二人などが〕大声で〔激しく〕口論する〔やり合う〕、怒鳴り合う
- heat up cold soup {1} : 冷めた〔冷たい〕スープを温める
- heat up cold soup {2} : 〈比喩〉〔特にカップルが〕冷めた関係を復活させる
- hegemonize {他動} : 〔地域などを〕支配下に置く、〔地域・分野などにおいて〕覇権を握る〔掌握する〕、〔分野などにおいて〕支配的地位を持つ◆【語源】hegemony + -ize（～の状態にする）◆【参考】hegemony
- hopium {名-1} : 〈俗〉希望という（名の）アヘン、根拠のない希望〔楽観〕を引き起こす物事◆アヘンのような作用を持つ架空の麻薬。言葉のあやとして、例えば、政治家の掲げる無責任な公約。◆【語源】hope + opium
- hopium {名-2} : 〈俗〉バラ色〔現実逃避〕の妄想、ラリって見る夢〔幻覚〕◆「根拠のない希望」を「麻薬による陶酔」に例えたもの。◆【類】pipe dream
- kitchen shears : キッチンばさみ、キッチン用はさみ
- know which way is which : どっちの道がどっちか分かる、どっちがどの方角か分かる◆例えば、分かれ道で迷わない。方向感覚が良い。
- live in someone's head rent-free : 〔考えたくない物事・思い出したくない嫌な人・大好きな物事などが〕（人）の頭から〔頭の中に住み着いて〕離れない◆【参考】live rent-free
- live on forever in someone's heart : 〔亡くなった人・大切な思い出などが〕（人）の心の中で永遠に生き続ける◆【用法】主に will live on forever in someone's heart の形で。someone の部分が複数（例えば our）なら、heart も複数形 hearts になる。
- more than just technique : 《be ～》技術だけの問題ではない、小手先の技術だけでは不十分である◆主語（例えば音楽演奏・舞踊・教育）については、技術面以外にも大切な要素がある（深い理解・精神性など）。
- need thoughts and prayers : 深い同情に値する、大変気の毒〔ご愁傷さま〕である◆本来は、災害の犠牲者などについての表現。「自分には関係ないけど、かわいそうにね」といった投げやり

なニュアンスを持つこともある（例えば銃を使った殺人事件について、一部の政治家が、毎回のように thoughts and prayers というばかりで銃規制をしないため、「中身のない口先だけの言葉」というイメージが生じた）。◆【参考】 thoughts and prayers

■risk-off {形} : リスクオフの、リスク回避の◆投資などにおける安全志向◆【対】risk-on

■risk-on {形} : リスクオンの、リスク選好 [志向] の◆投資などにおけるハイリスク・ハイリターンの方向性◆【対】risk-off

■soften one's opposition to : [人が] ~に対する反対姿勢を弱める

■speed tape : スピード・テープ◆アルミ製の特殊粘着テープ。飛行機・レーシングカーなどの応急修理に使われる（例えば、重要ではない部分に小さな亀裂が生じた場合）。高速で移動しても、はがれにくい。

■subdue someone's fear : (人)の恐怖心を鎮める

■take a trip down memory lane : 過去の思い出をたどる [振り返る]、(楽しかった)昔を思い出す、過去を懐かしむ

■try to put on a smile : [努力して] 笑顔を見せよう [浮かべよう] とする

■unit multiples of each other : 《be ~》《数学》[二つの元などが] 互いに単元 [単数] 倍である

■unpleasant customer : [ビジネスなどにおける] 不愉快な客

■victim of one's own success : 成功があだとなった人、成功が裏目に出た物事◆【直訳】自分自身の成功の犠牲者 ⇒ 成功して注目を集めたことで思わぬ展開となり、結果的には悪い事態を招いてしまった。

■vote overwhelmingly for : [主語 (国民など) の] 圧倒的多数が~に賛成投票する [賛成票を投じる]、~への賛成票が圧倒的多数を占める

略語

■DWLI : =driving while license invalid●免許失効中の運転◆自動車などについて。免停中の運転など。

■DeFi : =decentralized finance●分散型金融

■EPIRB : =emergency position-indicating radio beacon●非常用位置指示無線標識 (装置)◆船の沈没・飛行機の墜落などの非常時に、遭難信号を発して (人工衛星経由で) 現在位置を知らせ、救助を求めるための装置。

■FONO : =fear of normal●日常に戻ることに不安◆ウイルス感染症のまん延防止のための行動制限が解除された後で、人々が通常的生活や活動に戻ることに対して抱く不安。◆【略語の発音】フォウノウ

■MMA : =modified moving average●《統》修正移動平均

■SMMA : =smoothed moving average●《統》平滑化移動平均◆略語の SMMA の SM は smoothed を表す。単純移動平均 (SMA) との区別のため、このように略される。

■ZiB : =zebibyte●《単位》ゼビバイト◆1024 の 7 乗 (=2 の 70 乗) バイトの記憶容量・データ量。1024 エクスビバイト (EiB) に当たる。◆【参考】 exbibyte ; zettabyte

例文集「例辞郎」

■I couldn't have said it better myself. : そうそう、それが言いたかったんですよ。／まさにわが意を得たり。◆【直訳】私自身では、それをもっとうまく言えなかったろう。⇒ 話者が言いたかったこと・考えていたことを、相手はうまく言葉にしてくれた。仮に自分の言葉で同じ内容のことを言ったとして、そんなに上手に表現できなかつたらう。

■Now that's what I call a fine job. : まさに見事な出来栄ですね。／完璧な出来ですね。文句のつけようがありません。

■Oh no, you don't. : 駄目駄目、そんなことはできませんよ。／そうは問屋が卸さない。／させるか！◆【場面】相手がしようとしていることは、成功しない。話者は、相手の思いどおりにはさせない。

■Save your tears for later. : 今は泣いている場合ではありませんよ。／泣くのは後にしろ。

